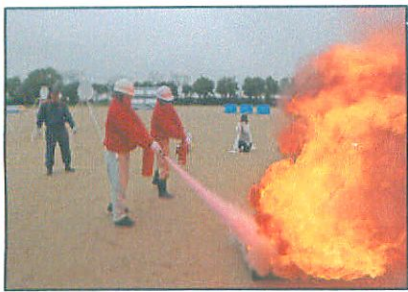


松阪市防災訓練に参加

朝見地区から120余名が参加

救出、消火訓練・バケツリレーや
避難民として体育館に集合して点呼等訓練

朝見地区から120余名が参加する。9月30日（日）雨模様の中、東部中学校をメイン会場にして、防災訓練が開始。朝見地区からは自主防災隊の代表が倒壊家屋からの救出訓練、バケツリレーなどに参加した。また、各町からは避難民として体育館に集合、割り当てられた避難場所へ待機し、人員掌握の仕方、救援物資の配分、避難場所の設置、飲料水の設置、毛布等の寝具配分、簡易トイレの設置など、本番さながらの訓練となった。食食には非常食として自衛隊による炊き出し味ご飯とお茶が配給され参加者の空腹を満たした。参加者が一番期待をしていたヘリコプター飛来の訓練は雨天で視界が悪いため中止となった。全体的には運動場に本部テントや各地区の自主防災隊待機機材のテント、など各所で訓練場所が作られた。12時過ぎ無事に解散をした。



平成19年度

市民懇談会

10月16日午後7時30分から、機敏小学校多目的ホールにて、市長と地域住民との懇談会が開催され東部中管内の地域住民約60人が参加した。朝見まちづくり協議会の田村会長からは地域予算の早期実現、鈴木事務局長からは住民協議会と行政との連携強化が提案された。下村市長は、「松阪市の規則においても、住民協議会というものはその地域を代表する団体であると認めている。現在7つの住民協議会が立ち上がってきており、来年度に地域予算を盛り込んでいけるよう協議を重ねている段階である。行政と住民協議会との連携についても、市役所の各部署にきちんと徹底していく」と説明した。



介護家庭

家族の集いを開催

家庭で介護をする思いを語り合い有意義な集いとなった。

福祉部会「ヤルゆる」事業では、介護家庭の家族の集いが、9月27日13時30分より協議会事務室で行われた。責任者佐波温子さんの挨拶で始まり、参加者80名が自

己紹介をしながら、自分の家庭で介護のエピソードを話し感動あり・笑いあり・勉強ありで楽しい集いとなった。責任者の佐波さんは「私ほど苦勞している者はいないと思ってきたが、皆さんの話を聞いてもっと苦勞している人もいる」とことを知り、頑張りなれないといけなさと決意を述べていた。次回11月に2回目の開催を行う予定、同じ家庭を持つ皆さんの参加をと呼びかけている。



朝見幼稚園 51年ぶりに 朝見園歌誕生！

お披露目を開催！

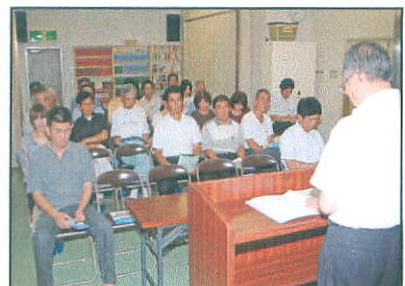
10月14日（日）9時45分より、幼稚園2階遊戯室にて開催。始めに池田先生の司会挨拶があり、幼稚園の遊びや楽しい生活の様子、伸び伸び元気に育つ子供達の姿や願いが込められた素敵なお歌ですと紹介。園児全員で「朝見幼稚園園歌」を合唱し元気な歌声で披露した。そして久瀬幸先生に小川義治園長から感謝状が贈られた。挨拶に立った久瀬幸先生は、「皆で、お早う、一挨拶・」など、歌詞の小節



ことに朝見の心が表れる素晴らしい園歌になったと作

犯部会委員・警察の腕章貸与者 第3回防犯講習会

週2回の防犯パトは他に例を見ない活動！



朝見まちづくり協議会では毎年定期的に防犯講習会を開催し、今回で第3回目の講習会となった。始に田村正朝見まちづくり協議会会長は、毎週2回の防犯パトロールを続ける防犯委員の活動は他に見られない努力の結果であり、安心安全の地域作りへ貢献していると賞賛した。その際に感謝を述べた。松阪警察署生活安全課の庄司係長を招き、講習会を開いた。講演では松阪署管内で起こった事件・事故を説明し子どもを犯罪から守るのは地域上げでの防犯運動が大事であり、地道に粘り強く実践している、防犯部会の活動に励ましのエールとなった。

御浜町でまちづくりの講演をする

朝見まちづくり協議会は三重県（政策部地方分権・広報連携室）の要請にこたえて、三重県南部に位置する御浜町に出向き、地域の区長さんや御浜町職員に向けて、まちづくりの講演を行いました。御浜町の古川弘典町長は、「御浜町は合併をせず、地域の住民の皆様と地域づくりを行ってまいりました。今日の会合を今後の町政に生かしていきたい」と語られました。朝見まちづくり協議会会長の田村正さんと、事務局長の鈴木三千夫さんは、スライドやビデオ映像を使って、朝見まちづくり協議会の活動内容をわかりやすく紹介しました。講演の後、地域の区長さんからは、「このようなた材をどのようにして発掘され、また啓蒙して

